KnownFor

上場企業の AI 検索とセキュリティ

2026年11月7日の調査・上場企業 2,911社の公式サイト

72.5%

AI 検索に読まれる基本が欠けている



80.5%

なりすましメールを止める設定が無い



72.4%

外から見える重大か注意がある



今週の示唆

AI 検索の準備とセキュリティの両方が、全体より進んでいる業種は 32業種のうち 3業種です。

AI 検索の準備が進んだ業種ほど、外から見えるセキュリティの課題が多い傾向があります（32業種・相関 -0.41）。

AI 検索のクローラーを止めていない会社は 99.9%。AI には社名と中身を読ませている一方で、社名をかたるなりすましメールを止める設定が無い会社は 80.5% です。

数字はすべて「改善が必要な会社の割合」（低いほど良い）。色は 赤 50%を超える・橙 10%を超え50%以下・緑 10%以下。調べた範囲は、公式サイトのトップページ・robots.txt・メールの設定（DNS）で、外から見える範囲だけです。会社名の分からない集計で、5社未満の区分は出しません。株式会社アーグマックスが調査用に開発した一斉点検の仕組み（非売品）で調べました。市販の KnownFor には含まれません。市販の KnownFor では、組織に所属し登録された担当者だけが、その組織のサイトを点検できます。

01

AI に読まれる準備

AI 検索は、公式サイトを答えの材料にします。止めている会社はほとんど無く、差は中身の書き方に出ています。

72.5% 進んでいない

AI 検索に読まれる基本が欠けている

AI 検索を止めていない・noindex なし・本文が HTML に・title・説明文・JSON-LD のどれかが欠けている

放っておくと：AI の答えに出にくい・ほかのサイトの情報で答えられやすい

78.2% 進んでいない

AI に会社の説明（JSON-LD）を渡していない

Organization など、会社を表す種類

放っておくと：AI が社名・所在地・公式の連絡先を取り違えやすい

75.3% 進んでいない

更新日が機械で読めない

dateModified・article:modified_time など

放っておくと：新しい情報か古い情報か、AI が見分けにくい

8.1% 進んでいる

ページの説明文が無い

meta description

放っておくと：検索や AI が、ページの要約を自分で作る

2.3% 進んでいる

本文が HTML に書かれていない

JavaScript を動かさないと AI が読めない

放っておくと：AI が本文を読めず、中身の無いページに見えやすい

0.1% 進んでいる

AI 検索のクローラーを止めている

robots.txt：ChatGPT・Perplexity・Claude・Google・Bing の、答えに使うクローラー

放っておくと：ChatGPT などの AI 検索が、御社のページを答えの材料にできない

llms.txt を置いていない：95.5%。学習用のクローラーを止めていない：99%（AI に読ませるかどうかを決めたというより、初期の設定のままと見られます）。

02

外から見えるセキュリティ

AI に読まれる入口は、攻撃する側からも同じように見えています。同じ上場企業を、外から見える範囲で確認しました。

なりすましメールへの備え（DMARC）の3段



80.5%
進んでいない

なりすましメールを止める設定が無い

DMARC が quarantine・reject でない（DMARC そのものが無い 25.2%・見張るだけ 55.3%）

> 放っておくと：社名をかたる偽メール（例：カード会社を名乗る偽メール。国は拒否の設定を要請（2023年））

76.8%
進んでいない

ブラウザ向けのセキュリティの設定が足りない

CSP・HSTS など（CSP が無い 86.7%・HSTS が無い 66.6%）

> 放っておくと：入力の抜き取り（例：決済ページのカード情報 約3万件（国内の通販・2025年））

47.7%
途中

ソフトのバージョン番号が外から見える

古い版・脆弱性のある版が見える 18.3%

> 放っておくと：公表された弱点を狙われる（例：AI の侵入テストのツールで国内企業 約20社が標的（2026年））

9.1%
進んでいる

http で開くと https に転送されない

http:// で開いたとき

> 放っておくと：盗み見・差し替え（例：ソフトの差し替え（トルコ・2018年））

99.3%
進んでいない

セキュリティの連絡先（security.txt）が無い

脆弱性の連絡先

> 放っておくと：知らせ先が無く、発見が遅れる

72.4%
進んでいない

外から見える重大か注意がある

重大がある 0.7%

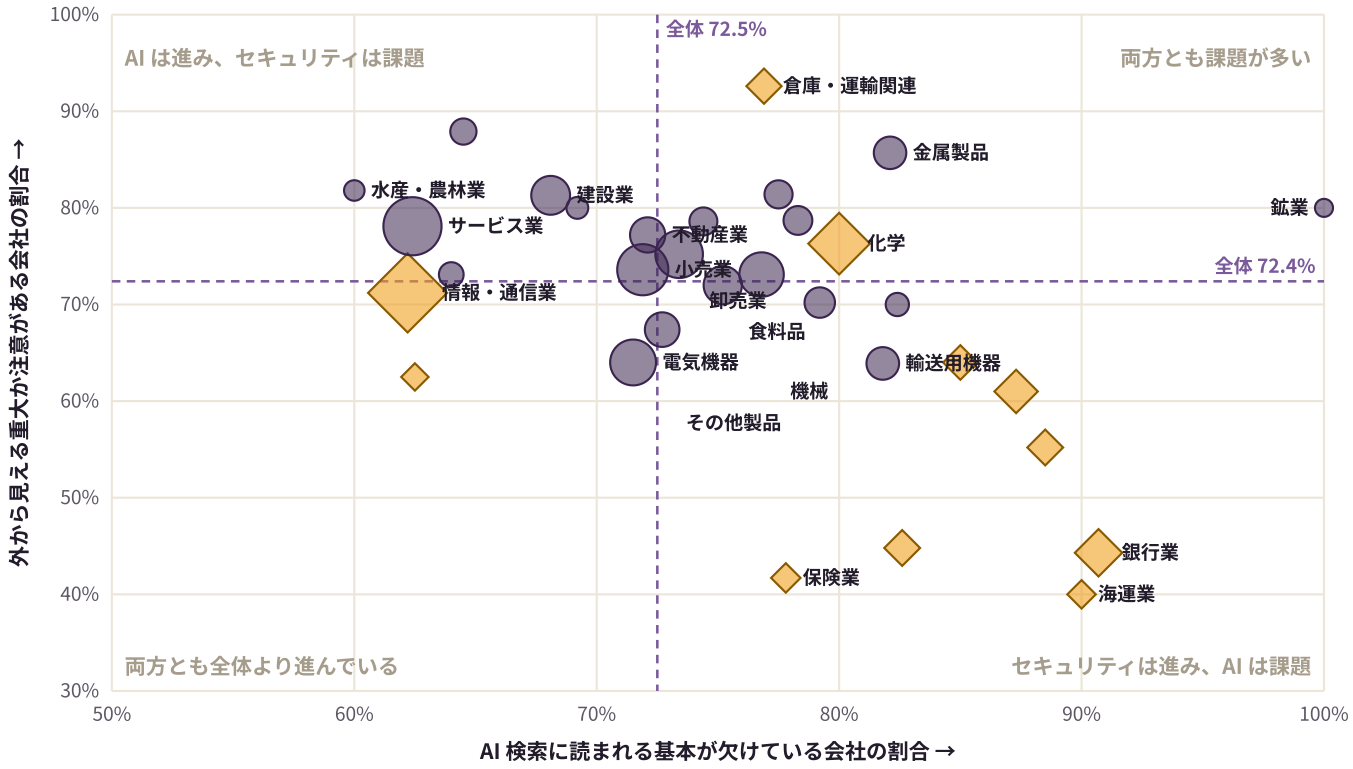
> 放っておくと：同じ入口が開いたまま（例：直す更新が出て3年後に攻撃・約32万人（米国の通販・2019年））

外から見える範囲の確認で、侵入テストではありません。安全を保証するものではありません。例は公的機関の発表と報道で確認した事件です（会社名は伏せています）。

03

掛け合わせ：AI × セキュリティ

AI 検索の準備とセキュリティの両方が、全体より進んでいる業種は 32業種のうち 3業種です。AI 検索の準備が進んだ業種ほど、外から見えるセキュリティの課題が多い傾向があります（32業種・相関 -0.41）。



点＝業種（大きさは社数）。◆は重要インフラの分野に関わる業種。線は上場企業の全体の値。名前は社数の多い業種と端の業種だけ（すべての業種は付録の表）。業種の傾向で、個々の会社に当てはまるとは限りません。

両方とも全体より進んでいる（3業種）	石油・石炭製品・電気機器・情報・通信業
AI は進み、セキュリティは課題（8業種）	水産・農林業・建設業・ゴム製品・鉄鋼・非鉄金属・小売業・不動産業・サービス業
セキュリティは進み、AI は課題（12業種）	食料品・パルプ・紙・医薬品・輸送用機器・その他製品・電気・ガス業・陸運業・海運業・銀行業・証券、商品先物取引業・保険業・その他金融業
両方とも課題が多い（9業種）	鉱業・繊維製品・化学・ガラス・土石製品・金属製品・機械・精密機器・倉庫・運輸関連・卸売業

会社単位の掛け合わせ（両方そろう会社の割合・なりすましの二重の隙）は、2026年11月14日の調査から数えます。この版では、業種単位の地図で示します。

示唆

業種の傾向からは、AI 検索に読まれる準備と外から見えるセキュリティが、別々に進められていることがうかがえます。けれど、AI が社名と中身を広めるほど、その社名は信頼の目印になり、なりすましの的にもなります。読まれる準備と守りは、同じ1本の線（GEO 成熟度）の上で、そろえて進めるのが近道です。

04

先週との変化

この版は、毎週の統計の最初の版です。次の週から、先週との差と、動いた業種を載せます。

05

示唆から打ち手へ

掛け合わせで見えた「なりすましの二重の隙」と「外から探される入口」を閉じる、3つの打ち手です。

1 **なりすましメールを止める設定にする** GEO 成熟度 レベル1（セキュリティ）

まだの会社：**80.5%**

DMARC を「見張るだけ（p=none）」から「隔離（quarantine）」か「拒否（reject）」へ。先に、会社から送っているメールのサービスを洗い出し、届かなくなるメールが無いかを確かめてから切り替えます。

2 **AI に会社の説明を渡す** GEO 成熟度 レベル2（正しく読まれる）

まだの会社：**78.2%**

トップページに、会社名・所在地・公式の連絡先・公式サイトの住所を、構造化データ（Organization の JSON-LD）で書きます。AI が社名や連絡先を取り違えにくくなります。

3 **ソフトのバージョン番号を外から見えなくする** GEO 成熟度 レベル1（セキュリティ）

まだの会社：**47.7%**

サーバーや CMS が返すバージョン番号を隠し、古い版・脆弱性のある版は更新します。公表された弱点を、外から機械で探されにくくなります。

自社がどの区分にいるかは、1回の点検で分かります。ホームページ点検報告書（1回）30,000円（税別）・早ければ当日。毎週の点検は月 40,000円（税別）から。

www.knownfor.jp ／ 資料：www.knownfor.jp/docs/

付録

業種別の表

業種	社数	AI 検索に読まれる基本が欠けている	会社の説明（JSON-LD）が無い	なりすましメールを止める設定が無い	バージョン番号が見える	重大か注意がある
上場企業の全体	**2,911**	**72.5%**	**78.2%**	**80.5%**	**47.7%**	**72.4%**
水産・農林業	11	60%	60%	90.9%	50%	81.8%
鉱業	5	100%	100%	100%	40%	80%
建設業	124	68.1%	75.2%	87.1%	51.3%	81.3%
食料品	119	75.2%	81.4%	87.9%	50.4%	72%
繊維製品	43	77.5%	82.5%	86%	56.1%	81.4%
パルプ・紙	20	82.4%	82.4%	88.9%	41.2%	70%
化学 重要インフラ：化学	174	80%	81.8%	73.1%	47.3%	76.3%
医薬品	57	79.2%	83%	89.3%	43.4%	70.2%
石油・石炭製品 重要インフラ：石油	8	62.5%	75%	100%	50%	62.5%
ゴム製品	15	69.2%	84.6%	80%	69.2%	80%
ガラス・土石製品	47	78.3%	87%	86.7%	63%	78.7%
鉄鋼	33	64.5%	71.9%	84.8%	46.9%	87.9%
非鉄金属	26	64%	76%	78.3%	40%	73.1%
金属製品	71	82.1%	82.1%	89.6%	52.2%	85.7%
機械	183	76.8%	81.5%	78.1%	41.7%	73.1%
電気機器	200	71.5%	74.3%	73.6%	42.5%	64%
輸送用機器	72	81.8%	83.3%	79.7%	40.9%	63.9%
精密機器	42	74.4%	87.2%	75.6%	46.2%	78.6%
その他製品	87	72.7%	81.8%	84.8%	44.2%	67.4%
電気・ガス業 重要インフラ：電力・ガス	25	85%	85%	83.3%	30%	64%
陸運業 重要インフラ：鉄道・物流	59	87.3%	92.7%	84.6%	30.9%	61%
海運業 重要インフラ：物流・港湾	10	90%	90%	71.4%	20%	40%
空運業 重要インフラ：航空・空港	5	—	—	60%	—	60%
倉庫・運輸関連 重要インフラ：物流・港湾	27	76.9%	76.9%	76%	57.7%	92.6%
情報・通信業 重要インフラ：情報通信	341	62.2%	69.1%	80.1%	46.6%	71.2%
卸売業	221	73.4%	78.1%	83.8%	49.3%	75.2%
小売業	269	71.9%	81.8%	83.9%	52.3%	73.6%
銀行業 重要インフラ：金融	79	90.7%	94.7%	27.3%	28.4%	44.3%
証券、商品先物取引業 重要インフラ：金融	29	88.5%	92.3%	72%	46.2%	55.2%
保険業 重要インフラ：金融	12	77.8%	88.9%	87.5%	33.3%	41.7%
その他金融業 重要インフラ：金融・クレジット	29	82.6%	91.3%	62.1%	39.1%	44.8%
不動産業	92	72.1%	74.4%	89.4%	58.8%	77.2%
サービス業	376	62.4%	70.2%	83.6%	53.5%	78.1%

— は5社未満などで出さない数字。重要インフラの分野は、国家サイバー統括室の統一基準（2026年10月1日施行・16分野）に対応する東証の業種です。業種に入っていても、その会社が重要インフラ事業者とは限りません。

調べた範囲：公式サイトのトップページ・robots.txt・メールの設定（DNS）。AI 検索の項目は、トップページの HTML を JavaScript を動かさずに読んだ結果です（AI が実際に各社をどう答えているかは、この調査には含みません）。対象は EDINET（金融庁）の上場会社のうち、公式サイトの住所が分かった会社です（Wikidata）。株式会社アーグマックスが調査用に開発した一斉点検の仕組み（非売品）で調べました。市販の KnownFor には含まれません。市販の KnownFor では、組織に所属し登録された担当者だけが、その組織のサイトを点検できます。

発行：株式会社アーグマックス（KnownFor）・東京都文京区本郷五丁目1番11号 KII HOUSE202・info@knownfor.jp。毎週更新し、過去の版は www.knownfor.jp/docs/stats/ からダウンロードできます。